JLEM News Letter　Vol.51

第57回日本語教育方法研究会開催

発表58件　参加者226名

第58回　オンライン開催

2021年9月11日(日)，第57回日本語教育方法研究会がオンラインで開催されました。また，前日の9月10日（土）には，運営委員会が開かれました。議事については，このレターの記事をご覧ください。

次回の第58回研究会は2022年3月15日（火）にオンラインで開かれます。皆様，奮ってご参加ください。

開催を終えて

中川　健司

（事務局）

第57回研究会は，2021年9月11日（日）にオンラインで開催され，58件の発表が行われました。これは，本研究会の9月開催のものではこれまでで最も多い件数でした。この形式でのオンライン開催の研究会も2回目となり，発表者，参加者の皆様もこの形に慣れてきたのではないかと思います。当日は大きなトラブルもなく，無事研究会を終えることができました。改めて感謝を申し上げます。

前回のニュースレターにも書きましたが，オンライン開催の研究会では，従来の対面式のものと比べて，参加者同士の交流が限られてしまうという短所があります。それを補うために，今回も参加者全員をブレイクアウトセッションでランダムにグループ分けし，そこで自己紹介，面白かった発表などについて話していただくという形の交流会を行いました。参加者の皆様のアンケートへのご回答を見る限りでは，概ね好評でしたので，次回も今回と同じ形で交流会を持つことを考えています。

次回開催にあたって

中川　健司

（事務局）

第57回研究会で発表したように，第58回研究会については，2022年3月15日（火）にオンラインで開催する予定です。対面式を恋しがる声も聞こえてきていますが，現状では，参加者の皆様の安全を確保した状態で対面式の研究会を開催するのは難しいと判断いたしました。

第58回研究会でも通常通り新規の発表を募集する予定ですが，運営上の都合により発表件数の上限を80件とします。発表申込件数がそれを上回った場合には，発表申込をされた方を対象に抽選を行い，発表をしていただく方を決める予定です。抽選から漏れた方は，会誌原稿掲載をもって発表成立といたします。

運営委員会報告

研究会当日の9月12日（日）にZOOMにて，2021年度日本語教育方法研究会総会が開催されました。無事，総会として成立し，全ての議案について承認されたことをご報告いたします。 また，研究会に先だって運営委員会がZOOMにて9月11日(土)に開かれました。今回18名の運営委員が参加し，参加できなかった委員からは委任状が提出されました。以下，総会での報告事項，承認事項について報告致します。

①会員数 2021年9月4日現在の会員数は 599名になりました。

②2020年度の決算について 会計担当委員から2020年度の決算案の説明が行われ，承認されました。

③2021年度の予算について 2021年度の予算案の説明が会計担当委員より行われ，承認されました。新型コロナウイルスの感染症の状況の悪化によるオンライン開催を鑑みた予算案となっています。

④今後の開催予定　第58回：2022年3月オンライン開催　開催方法等に関しては，「次回開催にあたって」をご覧ください。

(河野俊之)

事務局よりご連絡

●発表申し込み方法について

第57回同様，第58回研究会についても発表申込時に会誌原稿を提出していただくという形をとります。ご協力をお願いいたします。

●発表者の会費支払期限について

第58回研究会で発表するためには，発表者（複数の場合は全員）は応募時点で2021年度の会費（2021年4月からの新年度分）を支払っていなければなりません。今回はその期限を2022年1月19日（水）としました。その時点で入金が確認できない方については，発表申し込みを受け付けることはできませんので，それを見越して，お早めにご入金をお済ませください。昨年度（2020年度）の会費が未納の場合，今年に入って会費を支払っていても，それが昨年度分に充てられ，今年度分は未納のままという状態になっている方もいらっしゃいます。発表申し込みを行う前に，必ず発表者全員が各自の会員ページで会費支払いが済んでいることを確認するようにしてください。

●発表をお断りする場合

本研究会では，以下の場合発表をお断りする場合もありますので，ご承知おきください。

①本研究会，または他の学会・研究会で既に発表された内容のもの
②研究倫理上問題があると考えられるもの
③特定の個人や集団を攻撃する内容のもの
④特定の教材，商品，サービス等を宣伝するもの

●発表者の所属先の記載について

発表者の所属先の記載のしかたにばらつきがあるため，今後以下のように統一いたします。

・原則的には（強い希望がない限りは），組織名（大学名）のみ表記し，部局名（例：～研究科，～学部，～センター）は付けないようにしてください。
・大学院生，学部生の場合には，「○○大学大学院生」もしくは「○○大学学部生」と記してください。

●住所変更等

JLEMでは，会員管理システムに登録された会員住所に会誌を郵送します。住所変更が行われない，あるいは宛名不明のため，会誌が返送されてくるケースがあります。住所変更等があった場合は，速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。

（中川健司）

J-STAGEについて

JLEMでは，研究会誌をJ-STAGEで公開していますが，刊行後1年未満の会誌については書誌情報しか見られないように設定にしています。刊行後1年未満の会誌を読みたい場合は，冊子をご覧ください。（※J-STAGEの購読者番号・パスワードの配布はしていません）また，発表に応募される方は，以下の3点についてご了承くださいますよう，お願い申し上げます。

①JLEMでの発表応募は，「J-STAGEでの公開の承認」を前提とすること
②編集担当が最終的な受理とした原稿を後で変更できないこと
③研究会当日に発表を行わなかったと判断された場合，その原稿をJ-STAGEで公開しないこと

（寺嶋弘道）

会費納入について

会計年度は，4月から3月です。前号のニュースレターでもお願いしましたが，研究会のスムーズな運営のためにも，6月30日までにお支払いくださいますようお願いいたします。

また，各研究会の際に会費納入が終了していない場合は，研究会までに会誌が送付されず，後日送付されることになります。また，それにより，運営委員の手間が増えることになります。それはともかく，研究会の際，会誌が手元にないと不便だと思いますので，余裕をもってお支払いをお願いいたします。発表申込の締切日を目安とお考えください。

●振り込み先

「郵便局の電信払込」で以下にお振り込みください。

記号：10140
番号：69076511
加入者名：日本語教育方法研究会
振込者名：（氏名だけでかまいません）

●所属先名で振り込む場合

所属先の前に必ずご登録の会員名をご記入ください。所属先が前だと会員名がカットされることがあります。

●会員番号で振り込む場合

会員番号の前に必ずご登録の会員名をご記入ください。会員番号が前だと会員名がカットされることがあります。

●ご登録の会員名と異なる名義で振り込む場合

必ず振り込みの度に，ホームページの「お問い合わせ」より，その旨ご連絡ください。

●振り込む方の名義が外国語で表記される場合

ご登録の会員名が確認できないことがよくあります。特に，中国の方はピンインで表記されることが多いため，ご登録の会員名（JLEMのシステムでは漢字とカタカナのみ）を検索して確認するのに時間がかかっています。お手数ですが，振り込んだというご連絡をいただけると助かります。

●振り込みに必要な情報

ゆうちょ銀行の支店名や預金種目が必要な場合，便宜上の店名は，以下のようになっています。

銀行名 ゆうちょ銀行
金融機関コード 9900
店番 018
預金種目 普通
（「普通」「貯蓄」のいずれも可）
店名 〇一八 店（ゼロイチハチ店）
口座番号 6907651

（河野俊之・高橋亜紀子）

ご連絡先をお知らせください

会費をお振り込みいただいた方で，以下の方のお名前が会員名簿で確認できておりません。お心当たりの方は事務局までお知らせください。

2016/09/23 日付け 3000 円振込み
「フジタ　キョウコ」
2016/09/24 日付け 3000 円振込み
「鈴木　聡子」
2017/06/28 日付け 3000 円振込み
「オオタカ　ヨウ」
2018/09/08 日付け 3000 円振込み
「福良　直子」
2019/03/23 日付け 3000 円振込み
「渡邊　美和子」
2019/11/16 日付け 6000 円振込み
「カイインバンゴウ　２０」
2019/11/20 日付け 3000 円振込み
「イトウ　エミ」
2020/03/29 日付け 9000 円振込み
「カイインバンゴウ２０１」
2020/08/17 日付け 6000 円振込み
「デンキツウシンダイ　ハ」
2020/11/04 日付け 3000 円振込み
「ショウワジョシダイガ」
2021/01/21 日付け 3000 円振込み
「ＸＩＡ　ＹＩＨＵ」
（敬称略，10月24日現在）

（長谷川守寿）

日本語教育方法研究会
問い合わせ先：jlem-ml@jlem-sg.org
（レター編集：世良時子）